

〈本体商品の取付情報〉

年式	型式	車種	最大取付数		本体の取付方法						オプション	
			ト レ ー ド イ ン	ア ド オ ン	キ ット レ ス	取付キット使用			備考	1D		2D
						型番	主な付属品	希望小売価格 (税別)		46 サイズ		46 サイズ
H11/6~H13/9	GF-HM1	純正ラジオ付	1D		×	KJ-H21D①		3,500円	注1,3,4,5	◎	×	
	GF-HM2	純正ラジオなし			×				注2,4	注2	×	

(注1) 純正ブラケット (L/R) を取付キットのブラケット (L/R) の上に重ねて、共締めして取付けます。但し、純正ブラケットの手前部分が、キットのブラケット (L/R) に組付けたパネルに当たりますので、取付ネジ (キットに付属のネジを使用する) でパネルを組付けた取付キットのブラケット (L/R) と純正ブラケットを仮止めしておき、キットのブラケットを手前側に、また、純正ブラケットを奥側にずらしておいて本締めするようにします (この状態でも純正ブラケットがパネルに少し当たりますが、車両側への取付けは可能です。なお、ずらして取付けても、車両側のネジ穴および位置決め用のリブに純正ブラケットの穴が合わない場合には、純正ブラケットのステレオに取付ける穴を、手前側に1mm位削って純正ブラケットをさらに奥側にずらして取付けるようにします)。ブラケット後部の車両側への取付けは、純正ラジオと同様に行ってください (取付説明書参照)。

(注2) KJ-H21D①のみで取付けることは可能ですが、純正ブラケットが装着されていないため手前側を固定することができず、多少ガタ付きが生じますので推奨できません (取付ける場合は、手前側を固定する工夫が必要です)。

(注3) メーカーオプションのナビゲーションシステム付車 (H11/6~H13/9のみ) を除く。

(注4) 純正リアスピーカーなし車の場合には、車両側にリアスピーカー用配線はありません。

(注5) 取付キットに同梱のサイドブラケットと純正ブラケットを共締めして取付けます。なお、共締めする際、ステレオ本体に付属のネジでは長さが届かない場合があります。その場合は取付キットに付属のネジなど (M5×8またはφ5×10タッピングネジ) を取付けるステレオに応じて使用します。但し、一部のステレオ本体には特定 (長さやサイズなどが異なる) の取付ネジを使用するものがあり、その場合に長さ不足で届かない場合には、別途ネジを用意する必要があります。なお、使用するネジがステレオ本体およびその取付説明書に指定された長さ以上に入りすぎてしまうと、ステレオ本体の故障の原因になりますので、その場合は、適切な長さのネジを用意していただくか、別途ワッシャーなどで調整して取付ける必要があります。

〔取付キットの主な付属品の記号〕

接続が可能な配線	配線コネクタが付属	電源用アンブロックが付属	取付キットに化粧パネルが付属
	トレードイン取付け専用		
3電源 (ACC、常時、イルミネーション)			P
3電源+フロント・スピーカー			
3電源+フロント・スピーカー+リア・スピーカー			

接続方法は取付キット内の取付説明書に掲載。

〔別売オプション関係の記号〕 …… ホンダ車

◎	取付化粧パネルが不要	D46サイズをキットレス取付けする場合に、別売の化粧パネルが不要なことを表します。 D46サイズを取付キットを使用して取付ける場合に、取付キット付属以外の、別売化粧パネルが不要なことを表します。
	FMダイバーシティアンテナ変換コードが必要	FMダイバーシティ方式アンテナ車にトレードイン取付けをする場合で、パイオニア・FMダイバーシティ機能内蔵チューナーデッキアンプ/ハイダウェイチューナーを取付ける時には、別売のアンテナ変換コードRD-AN33 (2,000円、税別) を使用します。
	車両の純正ステアリングリモコンが使用可能	別売のステアリングリモコンアダプター、または別売のステアリングリモコンケーブルを使用することにより、車両側のステアリングリモコン用配線との接続が可能であることを表します。 (注) …純正ステアリングリモコン付車でも、グレードや仕様等により使用できない場合がありますのでご注意ください。
	汎用モニター取付金具が使用可能	汎用モニター取付キットKW-27V II ㊞ (12,000円、税別) がシート取付ボルト部に取付可能です (車種により、助手席シートが当たったり、スライドが充分できなくなる場合がありますので、注記文に注意して取付けてください。また、車種によっては、KW-27V II ㊞付属のロッドが使用できない場合もあります)。 (注) …KW-27V II ㊞は、助手席エアバック装着車で、エアバックの作動に支障のある場合には、ご使用にならないでください。

※表の見方については、本サイトの取付詳細情報 (PDF) の見方、および基礎知識や用語解説などをご確認ください。

〈スピーカー商品の取付情報〉

タイプ	取付場所	注記 A	カスタムフィット							注記 B	ボックスタイプ						ユニットタイプ			サテライト		
			TS-V173S	TS-C1730S C1730	TS-F1740S F1740	TS-C1630S C1630	TS-F1640S F1640	TS-F1040S F1040					TS-X480G X380	TS-X180	TS-E1796	TS-E1676	TS-E1396	TS-E1076	TS-G1030	TS-STH1100	TS-STH700	TS-STX510
ワゴン	FDア		×	×	×	×	×	◎①④						×	×	◎①②	◎①②	○⑥ リアビ ラー部 トリム	○⑤ リアビ ラー部 トリム	○⑤ リアビ ラー部 トリム		
	荷室側面	⑦	×	×	×	×	×			③			×	×	×							

注記

① 純正スピーカー付車の場合に可。
 ② 純正位置に付属のグリルは使用せずに、ユニットのみを取付ける。純正ブラケットの取付穴が完全に塞げず、四方向に隙間があく。TS-E1076はトゥイーターがグリル側に少し当たる（取付けは可）。
 ③ トリム表面からの汎用取付けは、荷室サイドトリムが一体成型トリムでグリルスペース/穴スペースが不可のため取付不可。
 ④ 純正ブラケットの取付穴が完全に塞げず、周囲に隙間があきます。また、取付けは2点止めになります。
 ⑤ リアビラー部はトリムの取付強度が弱いため不可で、リアサイドウインドーの上方に取付可。
 ⑥ 取付位置はリアサイドウインドーの上方位置で、リブを避けてブラケットを取付ければ、前方～後方の広い範囲に取付けが可。
 ⑦ 純正ディーラーオプションの「4×6インチボックス型リアスピーカー」付車は未調査ですが、純正スピーカーは4×6インチサイズのためスピーカーの取付けは不可と思われます。

〔カスタムフィッツインスピーカーの記号〕

◎	取付可（スピーカーに付属のコネクター使用）	⊕	取付可（別売の配線コードでの配線が必要）
◇	取付可（スピーカーに付属のブラケット等使用）	☒	取付可（別売の「スピーカー取付キット」を使用し、別売の配線コードでの配線が必要）
□	取付可（別売の「スピーカー取付キット」使用）	☒	取付可（別売の「インナーバッフル」を使用し、別売の配線コードでの配線が必要）
回	取付可（別売の「インナーバッフル」使用）	×	取付不可
⊙	取付可（配線加工が必要）	空欄	非適合、または未調査で取付可否不明
◆	取付可（スピーカーに付属のブラケット等を使用し、配線加工が必要）		

〔ボックスタイプ/ユニットタイプスピーカーの記号〕

◎	取付可	△	取付可（別売の「スパーサー」使用）
●	取付可（鉄板加工が必要）	▲	取付可（別売の「スパーサー」使用で、鉄板加工が必要）
○	取付可（スピーカーに付属のスパーサー使用）	□	取付可（別売の「スピーカー取付キット」使用）
●	取付可（スピーカーに付属のスパーサー使用で、鉄板加工が必要）	×	取付不可
		空欄	非適合、または未調査で取付可否不明

〔サテライトスピーカーの記号〕

○	取付可	(×)	取付不可（サードシート未使用時に限り取付可）
		×	取付不可
△	条件付きで取付可（注記参照）	空欄	非適合、または未調査で取付可否不明

※表の見方については、本サイトの取付詳細情報 (PDF) の見方、および基礎知識や用語解説などをご確認ください。